

# 諏訪の景気動向

平成26年 2月

(平成26年 1月末 D・I調査)

平成26年 2月26日  
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

## 諏訪地方の景気動向（平成 26 年 1 月末調査）

「平成 26 年 1 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 171 社のご協力を得て行った平成 26 年 1 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 2.3 となり、前回調査時(平成 25 年 10 月末、以下同)の 3.0 から、0.7 ポイント悪化した。製造業の業況判断DIは 9.3 と、前回の△0.7 から 10.0 ポイント改善した。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは、△19.1 と前回の 14.3 から、33.4 ポイント悪化した。また、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 6.2(前回 9.3)、非製造業が 19.1(前回△11.9)となり、回答全社では 9.4 となった。観光業の季節要因もあり、総体的な業況は 10 月末時点よりやや悪化したものの、「前年同期」より改善傾向が続く。ただ、先行き予想は消費増税の影響が測り切れず、不透明感が濃くなっている。雇用情勢は持ち直しの傾向となった。

**製造業**の業況判断DIは、「3ヶ月前」比で 9.3 と、前回調査時の△0.7 から改善し、「前年同期」比のDIも 19.4 で、前回の△7.1 から改善している。「3ヶ月後」の予想は 6.2 で前回の 9.3 より悪化した。また、受注状況DIも「3ヶ月前」比で 9.3 となり、前回の 6.2 より改善している。尖閣諸島問題による日中関係悪化や世界経済の減速などで受注が減少した「前年同期」比では、前回の△3.1 から 19.4 と改善している。ただ、「3ヶ月後」の受注予想DIは 2.3 で前回の 8.6 より悪化し、慎重な見方が増えている。収益性DIは「3ヶ月前」比が前回の△14.1 から△11.6、「前年同期」比も△23.4 から△13.2 へと改善しているが、依然マイナス水準で、「3ヶ月後」の予想は△9.3 と、前回の△1.6 より悪化している。

自動車関連を中心に受注状況は改善しているものの、収益状況がそれほど好転しない傾向もあり、ヒアリング調査では原材料や燃料、輸送費の高騰とともに、低単価の声もある。また、消費増税の影響が明確に予想できない迷いが見られ、当面「横這い」とする企業もあり、先行きの不透明感が募っている。

**商業**の大型店を中心とした業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて 0.0 で、「好転」と「悪化」企業が同率となり、前回調査時の 27.3 から悪化した。「前年同期」比DIも 16.7 で、前回の 27.3 より悪化した。「3ヶ月後」の予想DIは、「好転」の企業が上回り、16.6 と、前回の 0.0 から改善を見込む企業が増えている。ただ、収益性は「前年同期」比では 8.3 と改善しているものの、「3ヶ月前」比で△16.7、「3ヶ月後」では好転予想がなく、△8.3 となっている。消費増税の影響は少なからずあると見込む企業が多い。自動車販売は、諏訪地方の 1 月の車庫証明件数(軽自動車除く)が 1,001 件で、前月比で 69 件増加(7.4%)し、前年同月比では 193 件増加(23.9%)した。駆け込み需要もあって、昨年 10 月以降、4ヶ月連続で前年同月を上回っている。

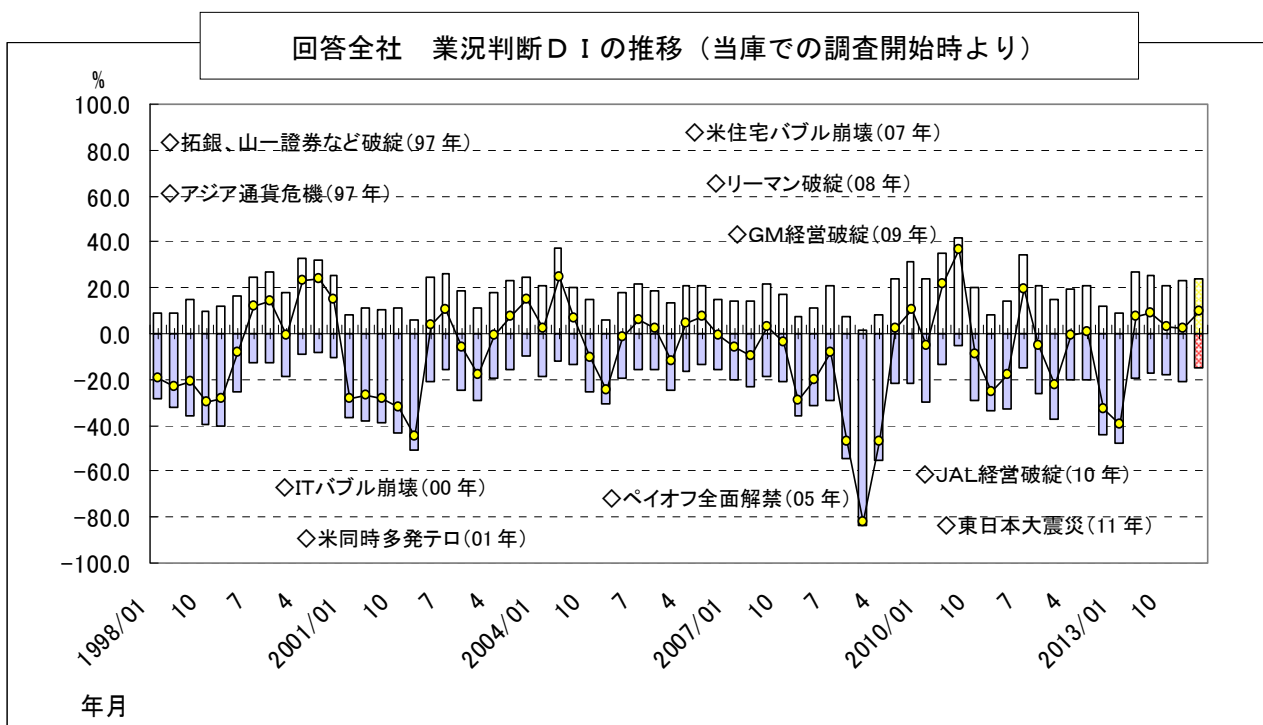
**観光・サービス業**の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて△38.9 で、前回調査時の△5.2 から悪化した。稼働率DIも△55.6 と、前回の 5.2 から悪化している。諏訪湖周辺のホテル、旅館の宿泊客数は前年同月比 80%～100%台で、年末年始の連休が長かったため月初は好調だったが、中旬以降は低調となった。「前年同期」比の業況判断DIでは 5.6 と前回の 5.2 と同様な傾向となっている。来客・宿泊数DIは△16.7 で前回の 0.0 より悪化した。中央道笹子トンネル事故の影響を受けていた昨年よりは増加傾向の施設が多い。「3ヶ月後」の業況予想DIは、春の観光シーズンに向かう季節要因があり 33.3 で前回の△31.6 より改善し、宿泊客数予想DIも 33.3、

客単価予想DIは 22.2 とプラス予想となっている。

**建設業**の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△8.3で、「好転」の企業がなく、「横這い」の企業が91.7%を占め、前回調査時の 33.3 から悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは 0.0 で前回の 8.4 より悪化した。判断が分かれ、不透明感がある。受注状況DIは、「3ヶ月前」比は△8.3で前回の 41.7 から悪化した。「前年同期」比では「横這い」企業が多いが、「悪化」企業がなく、プラス水準となっている。

諏訪地方の平成 25 年 12 月の新設住宅着工戸数は 178 戸と、前年同月の 95 戸に比べ 83 戸 (87.4%) 増加した。平成 25 年 4 月～12 月の累計着工戸数は 1,132 戸で、前年同期累計比で 299 戸 (35.9%) の増加だった。1 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は 12 件 630 百万円で、平成 25 年 4 月～平成 26 年 1 月の累計は 143 件、4,808 百万円となり、前年同期累計比 53.8% 増となった。市町村の発注工事は合計 53 件、285 百万円で、前年同月比 3.8% 減だった。例年 1 月は低調なスタートだが、今期の受注量は駆け込み分があり充足している企業が多い。ただ、新規受注は止まり、増税後の受注を懸念する声は強くなっている。

**雇用状況**は、平成 25 年 12 月の諏訪地方の有効求人倍率は、前年同月を 0.25 ポイント上回り、前月と同率の 0.98 倍となった。昨年 6 月から 7 ヶ月連続で前年を上回っている。長野県は 1.00 倍で 5 年 5 ヶ月ぶりに 1 倍台に達した。全国は 1.03 倍で 3 ヶ月連続改善し、完全失業率は 07 年 12 月以来 6 年ぶりの低い水準となった。新規求人数 (全数) は 1,248 人で前年同月比 124 人 (11.0%) の増加、新規求職者数は 869 人で前年同月比 70 人 (△7.5%) の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、製造業で 53.4%、その他サービス業で 39.2% 増加し、建設業で 25.7%、運輸業で 23.5% 減少した。また、1 件 10 人以上の人員整理は 1 件 21 人で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 71 人と、前年同月より 79 人減少、前月より 23 人増加した。期間を限った求人が多く改善とは言い切れないものの、リーマンショック前の数値に近づいている。



## 業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(171社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業が23.4%、「横這」企業が55.6%、「悪化」企業が21.1%で同DIは2.3と、前回調査時(10月末)の3.0から0.7ポイント悪化した。前回に比べて製造業は、「好転」企業が18.8%から27.1%へ増加し、「悪化」企業は19.5%から17.8%へやや減少した。非製造業は「好転」企業が26.2%から11.9%へ減少し、「悪化」企業は11.9%から31.0%へ増加した。冬期間の季節要因がある観光業や、消費税率引き上げの特例措置期限の昨年9月までに受注を伸ばした建設業の受注減少などが要因となり、「3ヶ月前」より悪化して入る。

産業別業況表

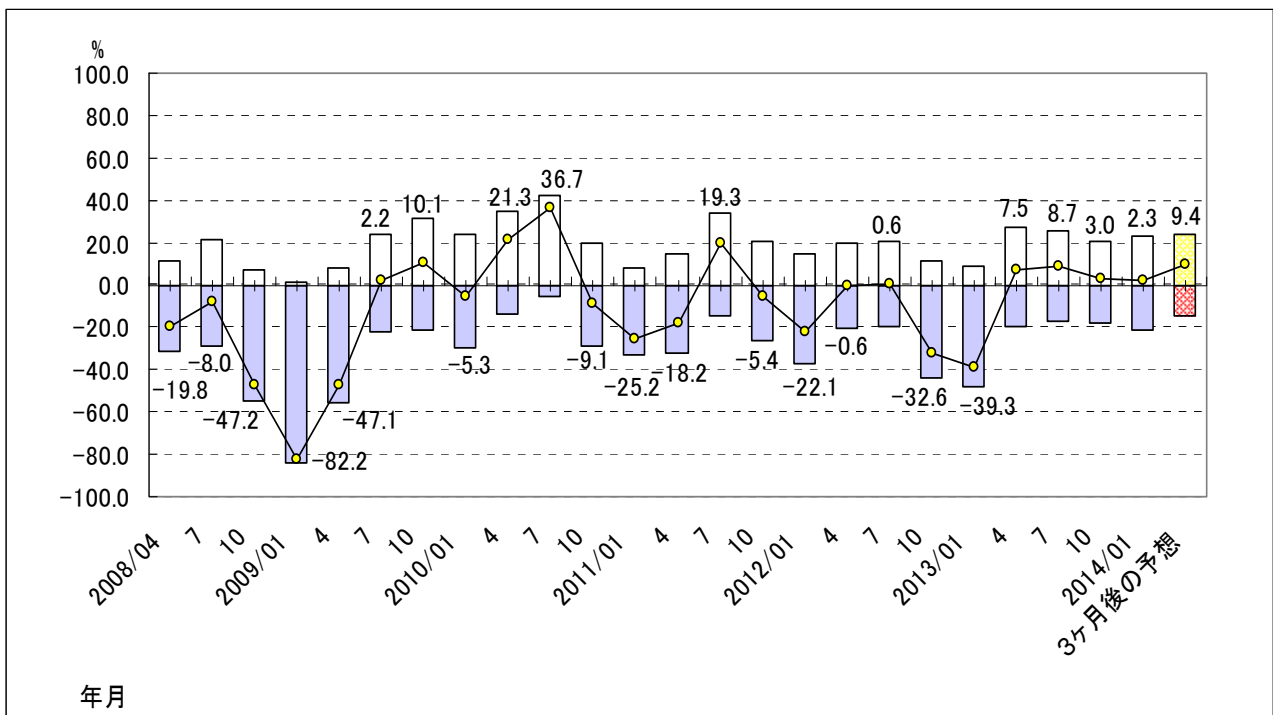
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	171	23.4	55.6	21.1	2.3	171	40.9	36.8	22.2	18.7	171	24.0	61.4	14.6	9.4
製造業	129	27.1	55.0	17.8	9.3	129	41.9	35.7	22.5	19.4	129	21.7	62.8	15.5	6.2
非製造業	42	11.9	57.1	31.0	-19.1	42	38.1	40.5	21.4	16.7	42	31.0	57.1	11.9	19.1
商業(大型店)	12	16.7	66.7	16.7	0.0	12	50.0	16.7	33.3	16.7	12	33.3	50.0	16.7	16.6
建設業	12	0.0	91.7	8.3	-8.3	12	41.7	50.0	8.3	33.4	12	16.7	66.7	16.7	0.0
観光・サービス	18	16.7	27.8	55.6	-38.9	18	27.8	50.0	22.2	5.6	18	38.9	55.6	5.6	33.3

### 自社業況判断DIの推移

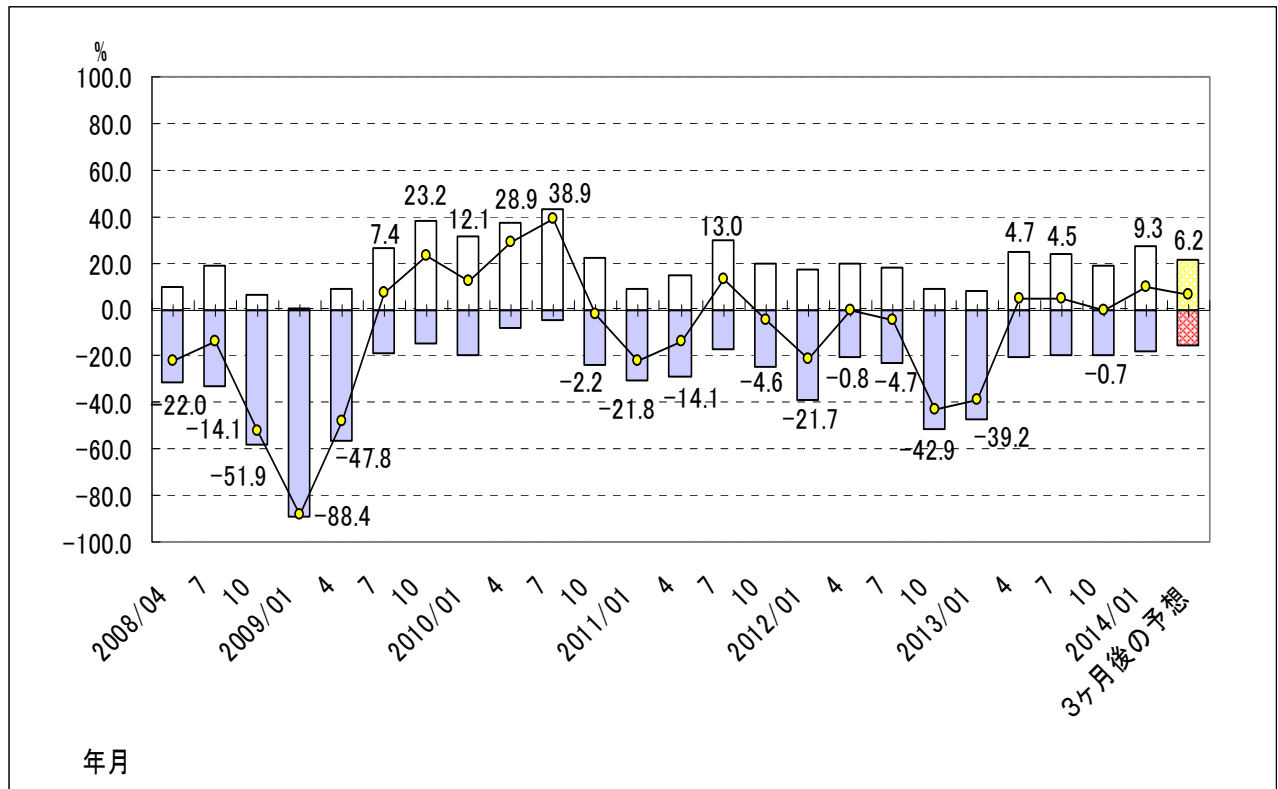
#### ● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



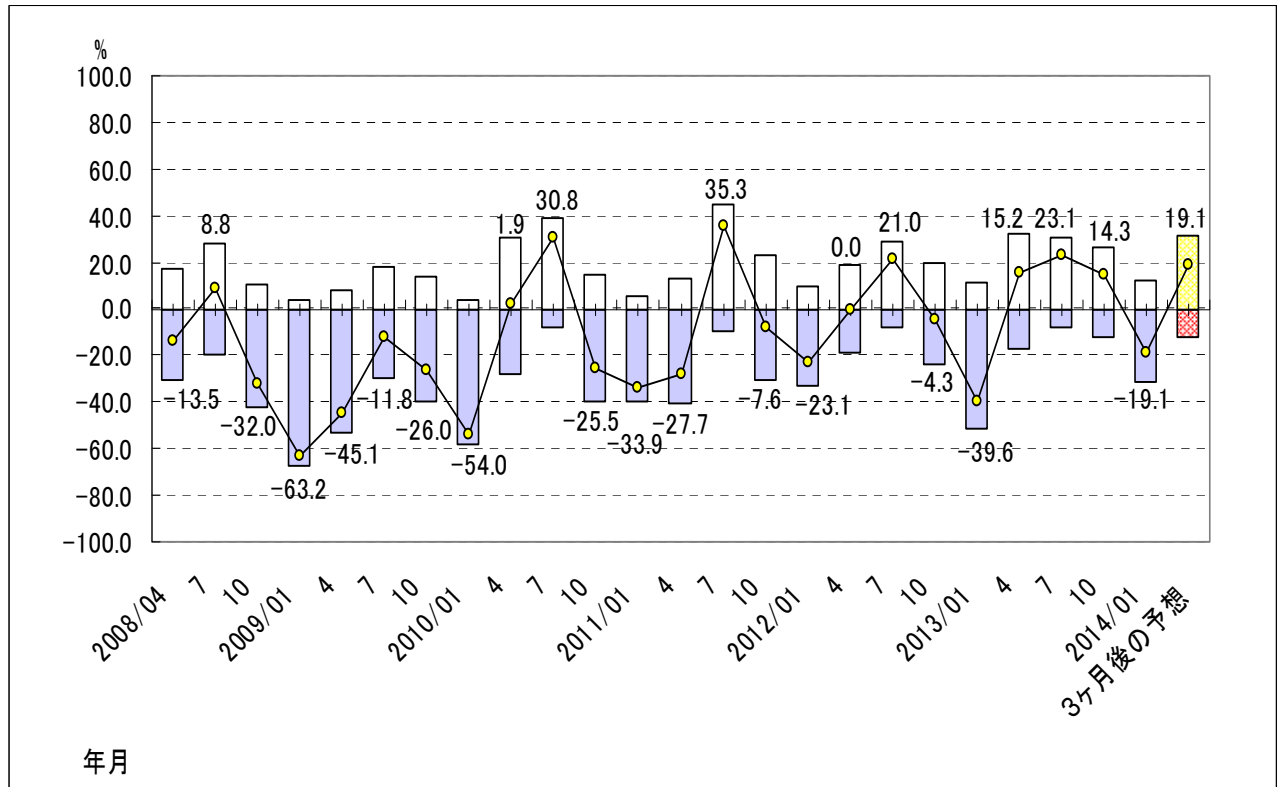
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



# 産業別景気動向

## 1. 製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で9.3と、前回調査時の△0.7から10.0ポイント改善した。「前年同期」と比べてDIは19.4で、前回の△7.1から26.5ポイント改善している。「3ヶ月後」の予想DIは6.2で、前回の9.3から3.1ポイント悪化した。

受注状況DIは「3ヶ月前」と比べて9.3と、前回の6.2から3.1ポイント改善した。「前年同期」比は19.4で前回の△3.1から22.5ポイント改善している。一方、「3ヶ月後」の予想DIは2.3と、前回の8.6から6.3ポイント悪化している。3月までの受注量は確保しているものの、消費増税導入後は不透明とする企業もあり、60.5%の企業が「横這」とし、「好転」「悪化」の見方は分かれている。

収益性DIは「3ヶ月前」比で△11.6と、前回の△14.1からやや改善し、「前年同期」比でも前回の△23.4から△13.2へ10.2ポイント改善したものの、「悪化」の企業が「好転」企業を上回り、依然、マイナス水準で推移している。原材料や輸送費、燃料などの高止まりを懸念材料とする企業は少なくない。「3ヶ月後」の収益性予想DIも△9.3で、前回の△1.6より7.7ポイント悪化した。

円安の影響DIは「3ヶ月前」と比べて前回の△8.6から△17.1、「前年同期」比では△13.3から△12.4、「3ヶ月後」の予想が△10.9から△15.5となり、「好転」より「悪化」の影響のほうが多い状況が続いている。

業種別(主要5業種)の業況判断DIでは、「3ヶ月前」と比べて「金属製品」が△33.3、「一般機械」は18.2、「電気機械」は24.0、「輸送用機械」は16.6、「精密機械」が0.0となった。「前年同期」比では「金属製品」と「精密機械」が0.0だが、「輸送用機械」は50.0、「電気機械」が40.0などプラス水準となっている。「3ヶ月後」の予想DIは、不透明感から慎重な見方が多く、精密機械は「横這」企業が90%を占めて△10.0、「金属製品」も△6.7とマイナス水準となっている。好調な「輸送用機械」も66.7%の企業が「横這」を予想し、「好転」と「悪化」の見方が分かれ0.0となっている。「電気機械」は20.0、「一般機械」は6.0と「好転」を見込む企業が上回っている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	129	27.1	55.0	17.8	9.3	129	41.9	35.7	22.5	19.4	129	21.7	62.8	15.5	6.2	
規模	1~29人	69	20.3	62.3	17.4	2.9	69	33.3	44.9	21.7	11.6	69	14.5	65.2	20.3	-5.8
	30~99人	39	33.3	43.6	23.1	10.2	39	43.6	25.6	30.8	12.8	39	25.6	66.7	7.7	17.9
	100人~	21	38.1	52.4	9.5	28.6	21	66.7	23.8	9.5	57.2	21	38.1	47.6	14.3	23.8
分類	金属製品製造業	15	0.0	66.7	33.3	-33.3	15	26.7	46.7	26.7	0.0	15	20.0	53.3	26.7	-6.7
	一般機械器具製造業	33	27.3	63.6	9.1	18.2	33	39.4	36.4	24.2	15.2	33	24.2	57.6	18.2	6.0
	電気機械器具製造業	25	40.0	44.0	16.0	24.0	25	56.0	28.0	16.0	40.0	25	28.0	64.0	8.0	20.0
	輸送用機械器具製造業	18	22.2	72.2	5.6	16.6	18	55.6	38.9	5.6	50.0	18	16.7	66.7	16.7	0.0
	精密機械器具製造業	10	30.0	40.0	30.0	0.0	10	40.0	20.0	40.0	0.0	10	0.0	90.0	10.0	-10.0

## ① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

### ● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて $\Delta 33.3$ で、前回調査時の15.4から48.7ポイント悪化した。「前年同期」比は0.0で前回( $\Delta 15.4$ )より改善している。「3ヶ月後」の予想DIは $\Delta 6.7$ で前回の15.4より悪化している。自動車関連の受注は多いが、単価が低い傾向となっている。見積もり依頼はあるものの、成約にならない状況もあり、利益率の課題が見られる。

### ● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて18.2で、プラスに転じた前回の3.2からさらに15.0ポイント改善した。「前年同期」比も15.2(前回 $\Delta 6.5$ )と改善した。「3ヶ月後」の予想DIは「好転」企業24.2%、「悪化」企業18.2%の6.0でと前回の16.1から悪化している。省力化機械や検査機などで大幅に受注が増加している企業の半面、回復基調の感触を持ってない企業があり、取引先などによってまちまちの状況となっている。

### ● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業が40.0%、「悪化」企業が16.0%の24.0と、前回調査時の8.3から改善した。「前年同期」比でも「好転」企業が56.0%で、「悪化」企業の16.0%を上回り、前回の16.7から40.0と改善している。また、「3ヶ月後」の予想DIも20.0で、「横這」企業が多いが、前回より改善している。ただ、収益性DIは0.0で、企業間に格差がある。

### ● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて16.6で、前回調査時の17.6から1.0ポイント悪化した。「横這」企業が72.2%を占め、「好転」企業が22.2%で、「悪化」企業が5.6%となっている。「前年同期」比は50.0で、前回の35.3からさらに14.7ポイント改善している。ただ、「3ヶ月後」の予想DIは「悪化」予想の企業がなかった前回に比べ、「好転」と「悪化」が同率となり、0.0となっている。

### ● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回調査時の $\Delta 15.4$ から改善している。「前年同期」比も0.0で前回の $\Delta 53.8$ から改善した。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは $\Delta 10.0$ で、「横這」企業が90%を占め、「好転」を予想する企業が減少している。アジア諸国向けのプロジェクターなどに動きがあるが、取引先による格差があり、「3ヶ月前」と比べた受注DIは $\Delta 10.0$ と減少企業が上回っている。

## ② 規模別業況

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて、「1~29人」規模が2.9、「30~99人」規模が10.2、「100人以上」規模が28.6だった。「前年同期」比は「1~29人」規模が11.6、「30~99人」規模が12.8、「100人以上」規模が57.2だった。「3ヶ月後」の予想DIは、「1~29人」規模は $\Delta 5.8$ 、「30~99人」規模が17.9、「100人以上」規模は23.8となっている。前回に比べ、全ての規模で業況は改善傾向で水面下を脱しているが、「3カ

月後」の予想は押しなべて悪化している。特に、小規模企業ほど、厳しい見方となっている。

### ③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況は「増加」企業 32.6%、「減少」企業 23.3%で同DIは 9.3 と、前回調査時の 6.2 から改善している。「前年同期」比では前回の△3.1 から 19.4 と改善した。「3ヶ月後」の受注予想DIは 2.3 で「増加」企業 20.9%、「減少」企業 18.6%と前回の 8.6 から悪化し、先行きの不透明感が濃くなっている。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は 1.4 で、前回の 1.5 とほぼ同率で推移した。「30～99人」企業は 12.8 で前回の 10.0 から改善傾向が続く。「100人以上」は 28.6 で前回の 15.0 から改善している。「前年同期」比では「1～29人」が 13.0 で、前回の△10.3 から改善した。また、「30～99人」は 15.4 と前回の△5.0 から改善し、「100人以上」も 47.6 と前回の 25.0 から改善している。一方、「3ヶ月後」の受注予想では「30～99人」は前回の 22.5 から 12.8、「100人以上」が 25.0 から 9.5 と悪化予想が増えている。「1～29人企業」は△5.8 で前回の△4.4 からマイナス幅が広がっている。

業種別(主要5業種)では、「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「電気機械」は 16.6 から 24.0 へ改善し、「精密機械」も△30.8 から△10.0 へマイナス幅が縮小したが、「輸送用機械」が前回の 41.1 から 16.7、「金属製品」は 15.4 から△13.3 と悪化した。「一般機械」は 19.4 から 18.2 と同様な推移だった。

「前年同期」比のDIでは「輸送用機械」が前回の 52.9 から 55.6 へさらに改善し、「一般機械」が 0.0 から 21.3、「電気機械」は 20.8 から 28.0、「金属製品」は△7.7 から 6.6 と改善傾向を示している。前回悪化していた「精密機械」も△53.8 から 0.0 へと改善した。

「3ヶ月後」の予想DIは、見通しが立てにくい状況が現れた。「金属製品」と「輸送用機械」は「増加」と「減少」の判断が拮抗して 0.0 となり、「精密機械」は全て横這いとしている。「電気機械」は「増加」予想の企業が上回っているが、「一般機械」は前回の 19.3 から△6.1 と「減少」予想の企業が上回った。

業種別・規模別受注状況表

表-3

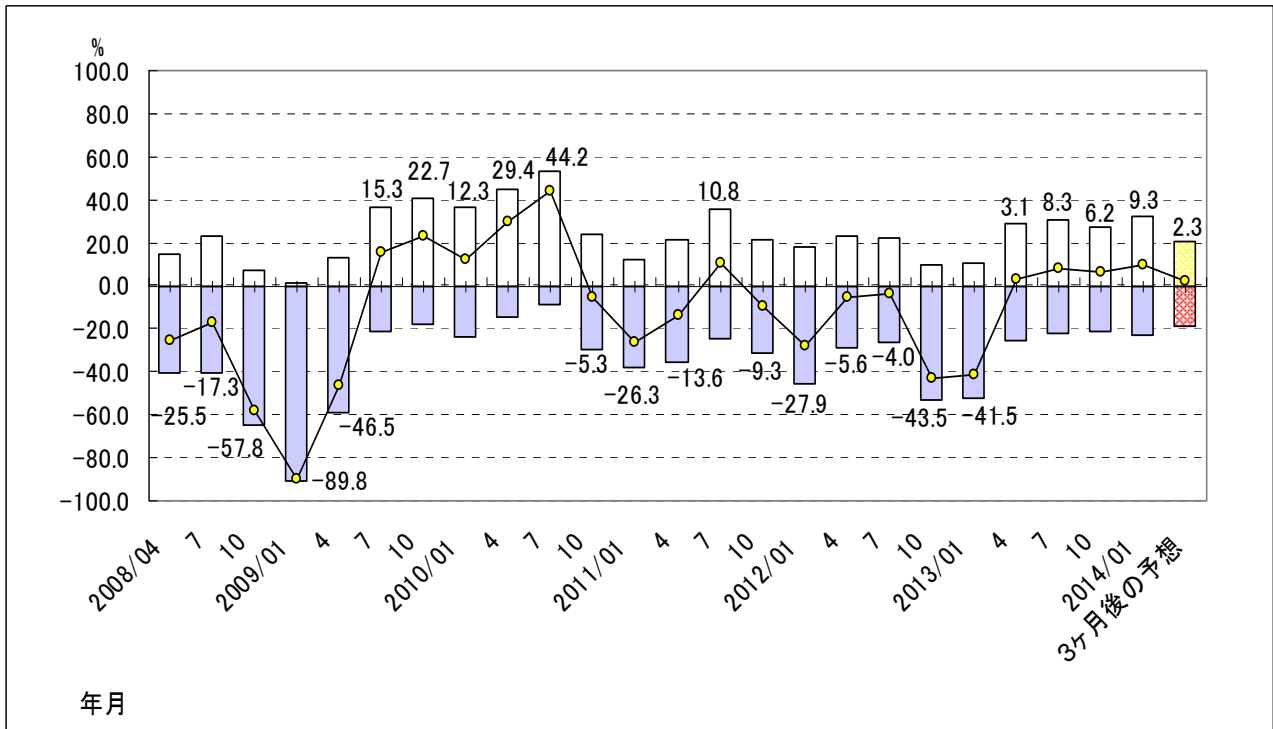
	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	129	32.6	44.2	23.3	9.3	129	44.2	31.0	24.8	19.4	129	20.9	60.5	18.6	2.3	
規模	1～29人	69	24.6	52.2	23.2	1.4	69	39.1	34.8	26.1	13.0	69	14.5	65.2	20.3	-5.8
	30～99人	39	41.0	30.8	28.2	12.8	39	46.2	23.1	30.8	15.4	39	25.6	61.5	12.8	12.8
	100人～	21	42.9	42.9	14.3	28.6	21	57.1	33.3	9.5	47.6	21	33.3	42.9	23.8	9.5
分類	金属製品製造業	15	26.7	33.3	40.0	-13.3	15	33.3	40.0	26.7	6.6	15	26.7	46.7	26.7	0.0
	一般機械器具製造業	33	36.4	45.5	18.2	18.2	33	45.5	30.3	24.2	21.3	33	21.2	51.5	27.3	-6.1
	電気機械器具製造業	25	40.0	44.0	16.0	24.0	25	48.0	32.0	20.0	28.0	25	24.0	64.0	12.0	12.0
	輸送用機械器具製造業	18	27.8	61.1	11.1	16.7	18	66.7	22.2	11.1	55.6	18	16.7	66.7	16.7	0.0
	精密機械器具製造業	10	20.0	50.0	30.0	-10.0	10	40.0	20.0	40.0	0.0	10	0.0	100.0	0.0	0.0



製造業の受注状況DIの推移

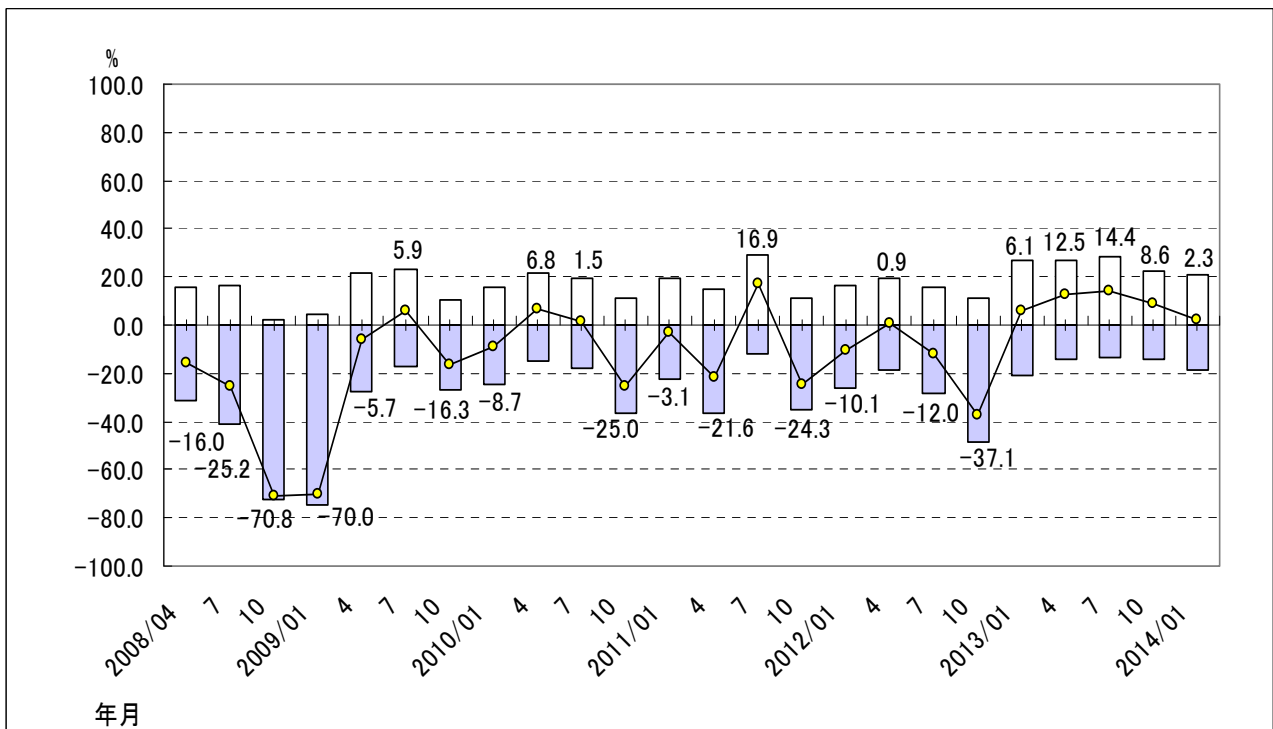
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



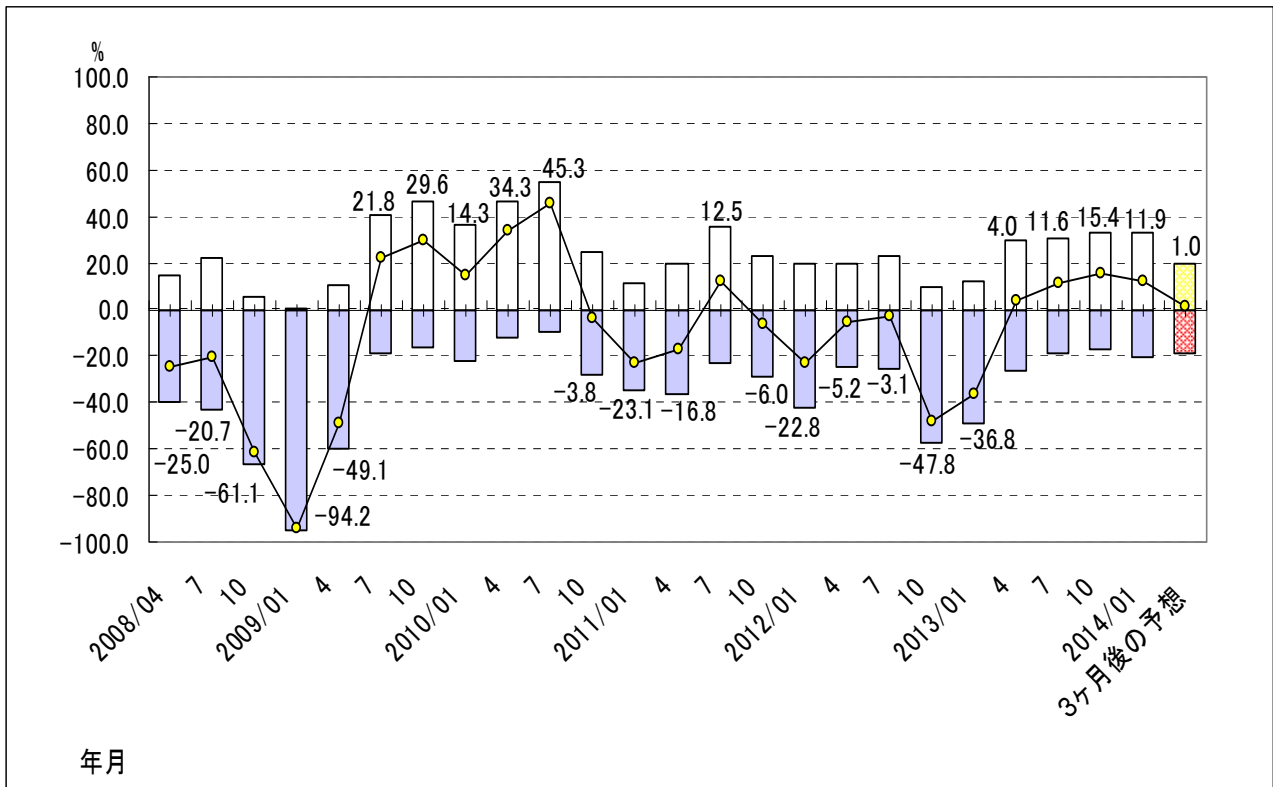
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



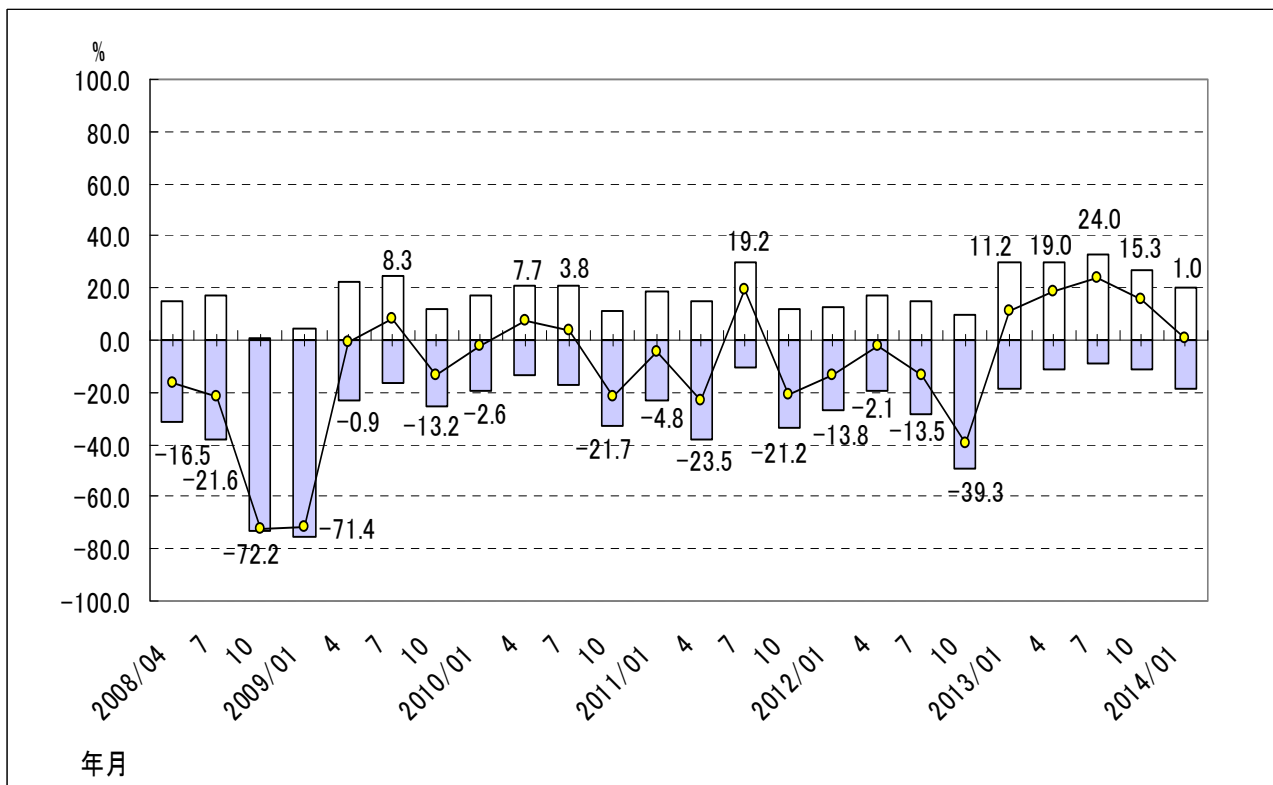
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



## 2.商業・観光サービス業

### ①商業

諏訪地方の1月の天候は日照時間が多く、寒暖差が激しかった。「3ヶ月前」と比べ、大型店を中心とした業況判断DIは0.0と前回調査時の27.3から悪化した。来店客数DIも0.0で前回の18.2から悪化し、収益性DIも△16.7で前回の18.2から悪化するなど、競争が激化し店舗によって業況が分かれている。客単価DIは16.7で前回の9.1から改善した。「前年同期」比の業況判断DIは16.7で、前回の27.3から悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは「好転」企業が上回り16.6となった。

- 食料品 野菜、果物、牛肉は安定していた。冷凍食品の農薬混入事件の影響は少なかった。
- 衣料品 スーツをはじめ紳士、婦人服とも堅調だった。3L、4Lサイズの衣料が売れ行きを伸ばした店舗もある。
- 自動車 長野県内の1月の新車新規登録・届出台数は、登録車が5,086台で前年同月比5ヶ月連続、軽自動車は5,330台で7ヶ月連続増加した。
- 家電店 ストーブやファンヒーターなどの暖房器具、LED照明器具が伸びた。
- ホームセンター リフォーム、エクステリア工事関連用品が堅調だった。

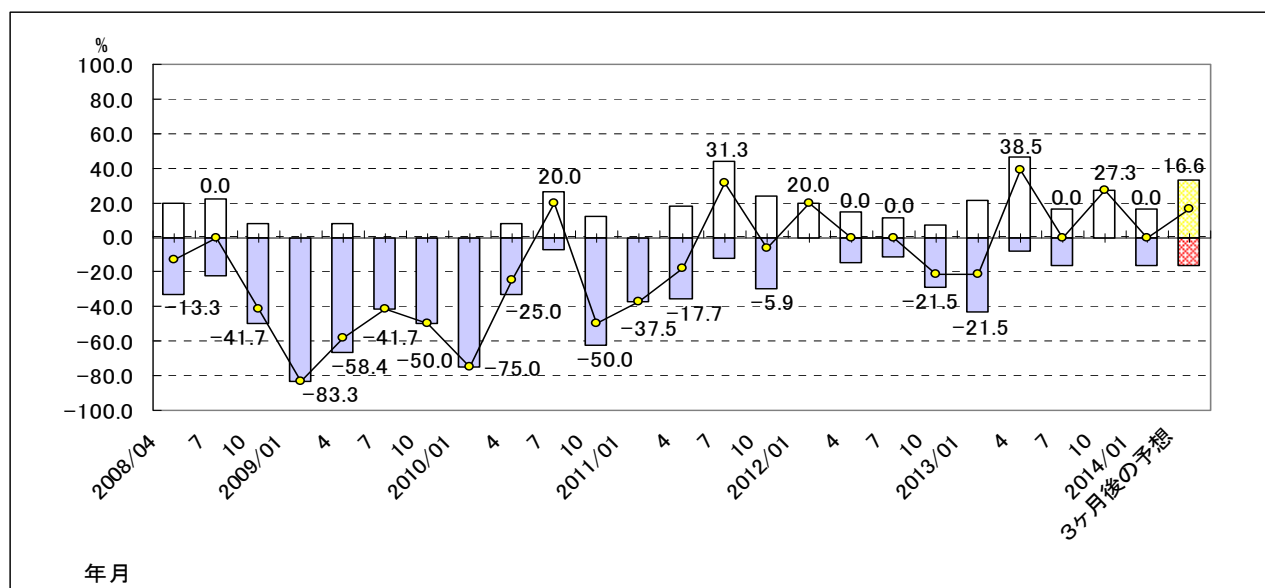
### 業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	12	16.7	66.7	16.7	0.0	12	50.0	16.7	33.3	16.7	12	33.3	50.0	16.7	16.6
客単価	12	25.0	66.7	8.3	16.7	12	25.0	75.0	0.0	25.0	12	16.7	83.3	0.0	16.7
来店客数	12	25.0	50.0	25.0	0.0	12	33.3	50.0	16.7	16.6	12	16.7	66.7	16.7	0.0

### ●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



## ②観光・サービス業

業況判断DIは「3ヶ月前」比が△38.9で前回調査時の△5.2より悪化したが、「前年同期」比では5.6で前回の5.2とほぼ同様に推移した。「前年同期」比の客単価DIは前回の10.5から△16.7、宿泊客数DIは前回の0.0から△16.7と悪化している。スキー場は積雪量があり、休日の天候が良かったため、来場者が増加した施設もある一方で、日帰り客が多く宿泊につながらない施設もある。「3ヶ月後」は業況予想DIが33.3で前回の△31.6から改善し、宿泊客数DIも33.3で前回の△26.3から改善した。

- 上諏訪温泉 1月の宿泊人数は総体で前年を上回ったが、前年同月は笹子トンネル事故の影響で前年比減少だったため、実質は減少した。中国や香港からの宿泊客が増加傾向となってきた。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか スキー場は格差があるが、中央道笹子トンネル事故があった昨年よりは増加した施設が多い。富士見方面は売上、来場者数とも好調だった。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた1月の参拝者数は約456千人と、前年同月比約580人の減少(△0.1%)となった。

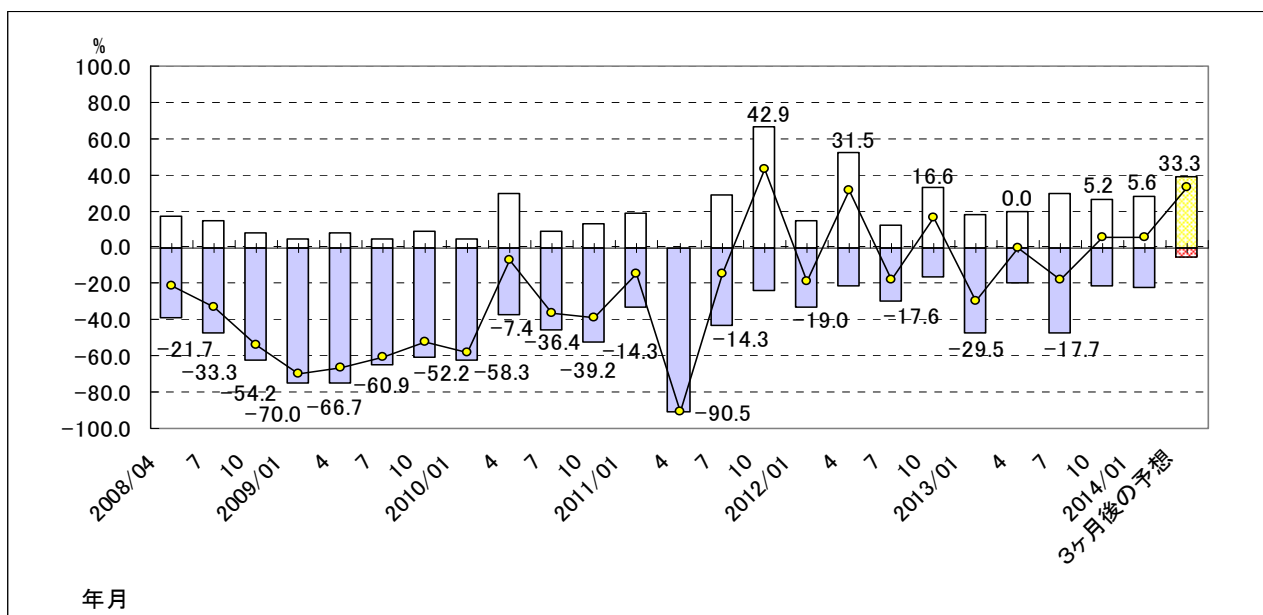
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	18	16.7	27.8	55.6	-38.9	18	27.8	50.0	22.2	5.6	18	38.9	55.6	5.6	33.3
客単価	18	0.0	61.1	38.9	-38.9	18	0.0	83.3	16.7	-16.7	18	22.2	77.8	0.0	22.2
宿泊客数	18	16.7	16.7	66.7	-50.0	18	22.2	38.9	38.9	-16.7	18	38.9	55.6	5.6	33.3

## ●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



### 3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で△8.3と前回調査時の33.3から悪化した。 「横這い」企業が91.7%となっている。「前年同期」比では33.4と改善している。「3ヶ月後」の予想は0.0で前回の8.4から悪化した。受注状況予想DIも前回の0.0から△33.3と悪化した。収益性予想DIは△25.0で、悪化予想が増えている。受注累計額がバブル以来の企業もあるが、駆け込み受注分を消化した後の受注を懸念する声が多い。

#### ●建築工事

諏訪地方の平成25年12月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市29戸、諏訪市86戸、茅野市40戸、諏訪郡23戸となった。平成25年4月～12月の利用別前年同期累計比では分譲が157.1%、持家は28.8%、貸家が9.5%伸びている。平成25年1年間では、1,393戸で前年比389戸、38.7%の増加となった。県全体の12月の新設住宅着工戸数は1,179戸で、前年同月比23.2%増加した。

#### ●公共工事

1月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所12件630百万円だった。市町村は建築工事1件、8百万円、土木及び下水道工事43件235百万円、その他工事9件42百万円だった。

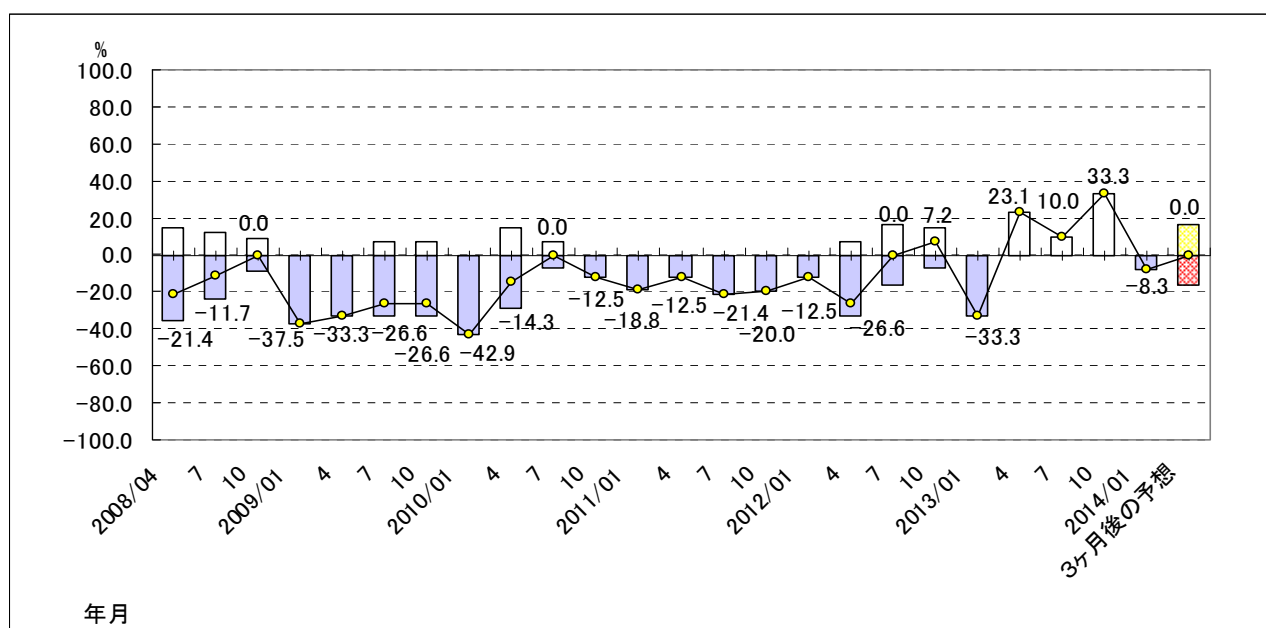
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	12	0.0	91.7	8.3	-8.3	12	41.7	50.0	8.3	33.4	12	16.7	66.7	16.7	0.0
受注状況	12	16.7	58.3	25.0	-8.3	12	33.3	66.7	0.0	33.3	12	16.7	33.3	50.0	-33.3
外注発注量	12	16.7	75.0	8.3	8.4	12	41.7	58.3	0.0	41.7	12	16.7	58.3	25.0	-8.3

#### ●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



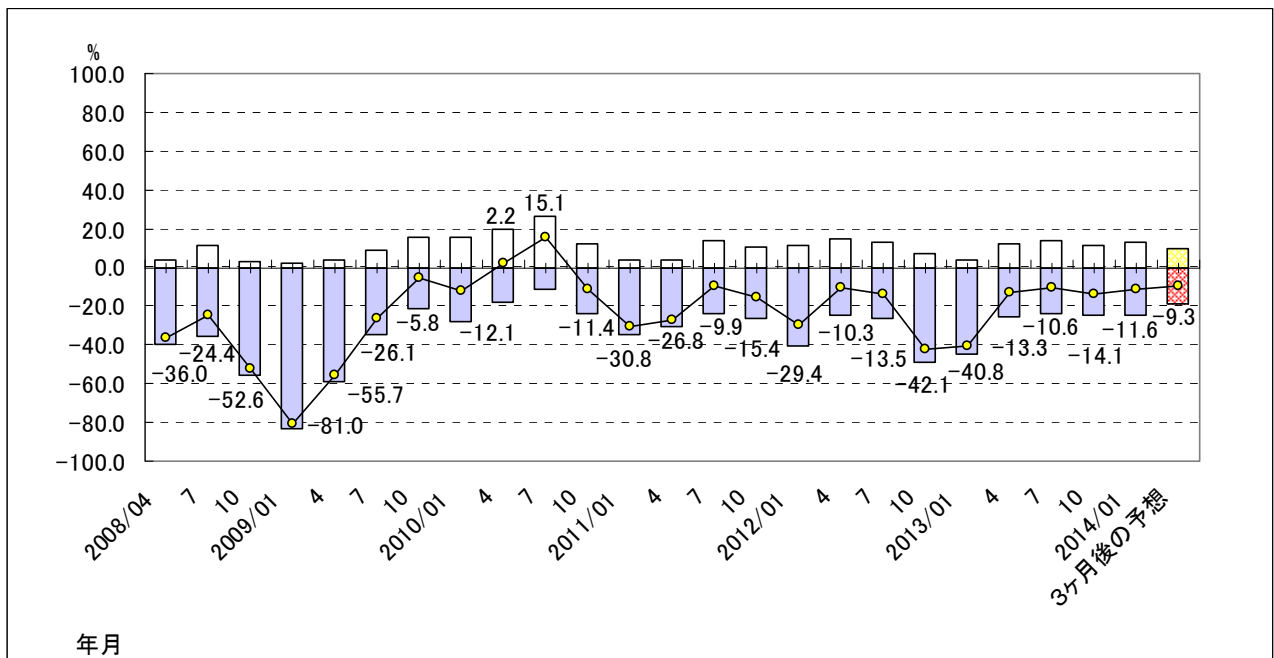
#### 4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 11.7%、「悪化」企業 27.5%と「悪化」企業が上回り、同DIは△15.8 と、前回調査時の△9.4 から悪化した。原材料や燃料高騰による収益圧迫の声は多い。「前年同期」比では△11.1 で、前回の△17.7 から 6.6 ポイント改善した。製造業の「前年同期」比は△13.2 で前回の△23.4 から 10.2 ポイント改善したが、非製造業の「前年同期」比は△4.8 で、前回の 0.0 から悪化している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△9.3 で前回の△1.6 から 7.7 ポイント悪化し、非製造業は 0.0 で前回の△7.1 より改善した。回答全社では△7.0 で前回の△3.0 から悪化している。

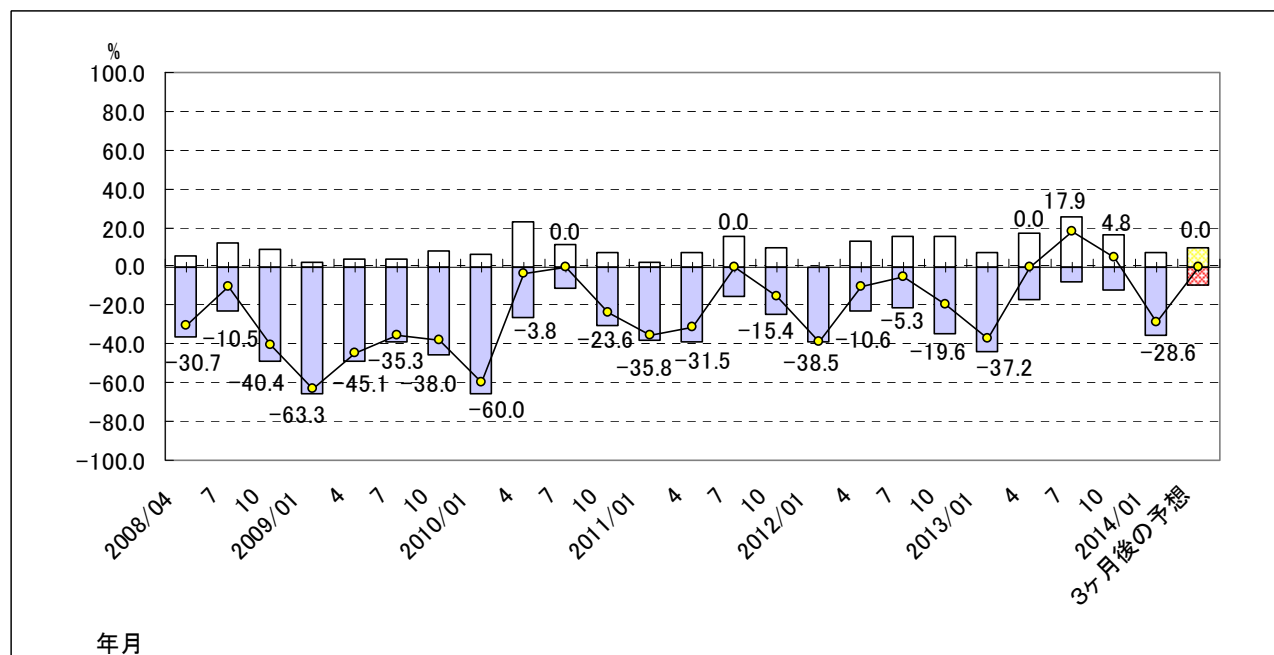
##### ●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



##### ●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



## 5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少、資金繰り、競争激化をあげる企業が多く、②商業(大型店)は競争激化、売上減少③建設業は競争激化、労働力確保④観光・サービス業は売上減少、単価引き下げ、資金繰りなどがあげられている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	72	54	5	3	10
単価引き下げ	32	26	0	1	5
競争激化	42	28	6	6	2
資金繰り	42	34	2	1	5
人件費	32	23	4	2	3
労働力確保	31	22	3	3	2

## 6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【12月】	ハローワーク諏訪	0.98倍	0.25ポイント	
手形交換高【1月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	7,097枚	△980枚	
	金額	10,221百万円	△1,008百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	2枚	1枚
	金額	2,900千円	1,674千円	
電力使用量【1月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	89,957 MWh	4.6%	
	高压電力計	103,180 MWh	7.0%	
	合計	193,137 MWh	5.8%	
車庫証明取扱件数【1月】(諏訪地方合計)		1,001件	23.9%	
新設住宅着工戸数【H25.4~25.12】(諏訪管内)		1,132戸	35.9%	

## 7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ①調査期間 平成26年1月末
- ②調査内容 「平成26年1月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- ③調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約130社)
- ④対象地域 諏訪地域全域
- ⑤業種 製造業、商業(大型店:売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥回答企業数 171企業
- ⑦回答率 64.0%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	200	20	20	27	267
回答数	129	12	12	18	171